

2023 年度 各部会の活動概要

- VEに関する情報交換の場 -

VE情報交流部会

対象者: 初めて部会活動に参加する方、VE関連情報を把握したい方

主 査: 高橋 均 [ライフバリュー・クリエイト株式会社]

VE情報交流部会は支部活動の入り口として、昨年度、新たに発足した部会です。VEを導入・推進する上で肝になる、推進組織や教育・社内展開などの情報を知りたい方を対象にしています。昨年度は、規模もVE推進の状況もさまざまなメンバーが集まり、お互いの課題を共有しながら意見交換をしてきました。自らの組織以外からのアドバイス・アイデアを交わし合える場を作り上げることができました。今年度も引き続き「社外の人とつながりを持つ」、「悩みを共有する」、「アドバイスをもらう」、「得られた情報を持ち帰る」ことを目的にして、月に一回、VEに関するさまざまな情報の交換や課題解決のためのディスカッションを進めていきます。初めて東日本支部の活動に参加する方は、本部会を通して支部全体や部会活動の取り組みを知ってモチベーションを高めていき、自分たちのニーズに合った部会に参加していくことお勧めします。【部会運営上、50歳以上の方とVES・CVS資格をお持ちの方の参加はご遠慮ください】



- VEの普及定着と推進ノウハウ -

VE推進部会

対象者: VE活動の推進、人材育成・教育研修などに携わる方

主 査: 大久保 匠 [株式会社富士通ゼネラル ビジネス推進部]

VEの普及推進を目指し、メンバー各社の推進担当やコンサルが月に1度集まり、課題と施策について2つの研究会で活動しています。「VE普及推進研究会」では、米国VE協会のVMガイドからも新しい知見を得ながら、推進部門のDXも視野に入れた「VE推進部門のあるべき姿と留意点」をテーマに研究していきます。「VE実践活用研究会」では、VEプロジェクトの実践に役立つ、技法の研究と検証を進め、「アイデアを生み出す実践的発想の進め方とファシリテーション」について研究していきます。好評なメンバーによる事例紹介も行いながら、実践適用につなげていきます。VE初心者の方も大歓迎です。是非ご一緒にVE推進上の課題解決に向け研究していきましょう！GIVE&TAKEの精神で楽しく！【初回会合：4月11日(火) 14:00-17:00】



- プロモーションとVEの接点 -

マーケティング部会

対象者: マーケティングやデジタルプロモーションに関心のある方

主 査: 清水 弘幸 [アットマーク・コンサルティング合同会社]

VEを活用したマーケティングの研究をしています。現在は4Pの一つ「プロモーション」の研究として、デジタルプロモーションに的を絞り、一昨年には「プロモーションのための機能別SNS比較表」をまとめました。昨年はその比較表の効果・有効性の検証のため、実際に部会としてTwitterのアカウントを開設しています。 <https://mobile.twitter.com/VEmarketing2023> 今年度はTwitterの運用(実際に投稿していただきます)を通して、分析手法の研究も含めて効果を把握し、比較表の検証とブラッシュアップにつなげていく予定です。【未経験者大歓迎です】デジタルプロモーションに興味をお持ちの方をはじめ、VE資格をお持ちでない方も大歓迎です。ぜひ一緒に新たなVEの可能性を探求しましょう！お待ちしております。【初回キックオフ】4/25(火) 13:30~15:30:オンライン会議(部会は原則毎月第4水曜 13:30~15:30です)



- 目指せ VEイノベーション! -

R & D 部会

対象者: 新しいVE手法の創造、VEの実践、研究開発・設計部門の方

主 査: 野嶋 泰資 [株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域]

当部会は、不確実性が高い時代に相応しい新たな手法の研究・開発に取り組んでいます。これまでの社会では、顕在化した問題を解消する手段の実現(モノづくり)をゴールとしていました。しかし、社会が成熟し価値観が多様化する時代には、問題解決の一段上にある使用者の喜び(ディライト)を実現することが本質的なゴールであると考えます。それを追求するためには、基本的な考え方や必要となる知識、検討手法を従来のものから大きく転換する必要があります。そこで、今年度は製品やサービスを通して使用者の「ディライト(喜び)」を探求するための発想法を研究します。(詳しい内容は[こちら](#)をクリック)新しい研究のスタートとなりますので、まずは研究の全体像を示すとともに、基盤となる知識の提供を行いながら、メンバーの共通認識を構築することから進めていきます。初めて参加される方におかれましても、取り組みやすい進め方と思います。ぜひご参加ください。【初回会合:4月18日(火) 14:00~17:00】



- ニューノーマルを模索する -

ものづくり部会

対象者: サプライチェーン全般における「ものづくり」に携わる方

主 査: 下村 盛章 [パイオニア株式会社 MPC原価企画室]

“工場/施設見学会・技術交流会”を活動の柱に、Post コロナ/With コロナを模索します。コロナ前は現場に「行って」、現場・現物・現実を「観て」、原理・原則などを「考える(学ぶ)」活動が中心でした。コロナ以降は、ピンチをチャンスに変える企業の先進的な取り組みを紹介いただく『オンライン技術交流会』を中心に知見を広げてきましたが、次の世界を見据えた活動を考える時期に来ています。今後、コロナ前と同じ生活に戻ることはなく、今年度の部会もオンラインとリアルハイブリットの試行期になりそうです。世界の動向を踏まえて、どのように「ものづくり」を学ぶかを考えながら活動していきます。ものづくりに関心がある方、異業種からヒントを得たい方など、知識・経験のレベルを問わず幅広く参加を募ります。

工場/施設見学会・技術交流会

工場/施設見学会。先進企業の新技術、製品、取り組み紹介と意見交換会。ものづくりを中心に、SDGsやDX、原価企画などに関係する企画を検討。

ものづくりに関する勉強会

メンバーの希望を募り、ものづくりに関わる新たなテーマに関する勉強会を開催。



- 調達困りごとを解決 -

資材調達部会

対象者: 調達の実務経験がある方(企業OBを含む)、VE推進部門の方

主 査: 谷口 正洋 [東京電力ホールディングス株式会社 調達企画改革G]

資材価格の高騰をはじめ、部品不足やSDGsへの対応、人手不足等、最近、調達に関する困りごとが非常に増えています。VE協会の事務局にも調達関連の相談が多数寄せられているとのことで、2022年4月、資材調達・購買業務に携わる方々を対象に、この部会が発足しました。

1年目の2022年度は、CSR調達、開発購買、VE推進、インフレ対策、間接材調達などをテーマに取り上げ幅広い議論を進めてまいりました。

2年目の今年も、みなさんの困りごとをVEにこだわらずにお伺いし、解決につながるような情報をお互いに交換することを計画・実施していきたいと思っております。物品調達、工事調達、委託調達、輸送調達、間接材調達などなど、「調達」に関するお悩みを抱えている方は、ぜひ、この部会にご参加くださいませ。情報交換を活発に行いながら、業務上の課題を解決していきましょう!

【部会の性格上、調達の実務経験がない方、またはVE推進部門でない方の参加はご遠慮ください】



- 事業戦略からまちづくりまで -

社会インフラ部会

対象者: 一般製造業や建設業など、社会インフラ全般に携わる方

主 査: 木守 岳広 [パシフィックコンサルタンツ株式会社 VEセンター]

社会インフラに携わる方々、VEを実際の業務や身の回りの題材に活用したい方々を対象として、様々な情報交換を行いつつ、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。

参加メンバー相互の情報交換と技法の学習と実践を通じて、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図り、社会に貢献することを目的とします。

(A)「企業ケース検討会」 ◎リーダー: IHI・薄衣

ポーター賞を受賞した企業の分析を基に、優良企業の経営ノウハウを検討します。

メンバー全員で作成する「優良企業の戦略体系図」は、企業経営だけでなく新たな商品を検討する際にとっても役立ちます。

(B)「建設VE研究会」 ◎リーダー: パシフィックコンサルタンツ・木守

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。

実在する「道の駅」をテーマに、フューチャーデザインやQFD(品質機能展開)、FASTなどさまざまなVE関連技法を試行し、公共事業の改善ノウハウを共有します。VE関連技法は皆で学びながら進めていきますので、初心者の方でも大丈夫です。ぜひ、お気軽にご参加ください。



東日本支部

● 支部長

薄衣光明 (I H I)

● 副支部長

曾我行雄 (フジタ)

大橋 守 (日アカデミー)

運営委員会 (支部長・副支部長、部会主査・副主査で構成)

* ミッションは支部年間計画の承認と進捗管理

運営企画会議 (支部長・副支部長・部会主査で全体調整を担当)

部会

① VE情報交流部会

② VE推進部会

③ マーケティング部会

④ R&D部会

⑤ ものづくり部会

⑥ 資材調達部会

⑦ 社会インフラ部会

研究会 — VE初心者のためのスキルアップ研究会

2023年度 東日本支部の組織体制